総評

英語をのぞく4教科がいずれも難しめで、5教科合計の平均点も低くなりました。読解や記述の分量が多かった教科もあり、その影響があったかもしれません。

今回の試験範囲である、中1の冬期までの内容は、入試に向けてのいわゆる「基礎」の部分ですから、どの教科も確実に身につけておきたい内容ばかりです。間違えた問題は徹底的に復習し、基礎を完璧にしましょう。

1月からの学習はまた一段難しくなります。結果が良くても油断せず、より実戦的な問題に取り組みましょう。

道コンのような試験は、受験して結果を見ただけでは価値はありません。自分の弱点を把握し、苦手な問題を克服してこそ、受験した価値があるのです。せっかくの受験を無駄にしないためにも、間違えた問題の直し直しを必ず行って、実力アップに役立ててください。

国語

難しい出題でした。

㉒は、問三のグラフと資料を読み取って記述する問題の得点率が低くなりました。「グラフⅠ、Ⅱ」から読み取れることを書いていないものや、「注意する必要があるのではないかと考えた理由」が抜けているものが散見されました。問題の条件をよく読み、必要な内容を過不足なくまとめましょう。㉓の問一を間違えた人は、「修飾語」や「文節」がどのようなものかをおさえておきましょう。㉔は全体的に記述量が多く、難しかったようです。空欄の前後との接続にも注意しましょう。㉕の古文は、全体に得点率が低くなりました。問一を間違えた人は、かなづかいのきまりをおさえておきましょう。内容が読み取れなかった人は、口語訳と照らしあわせて、もう一度読んでみましょう。

数学

後半に手問のかかる問いが多く、平均点は低くなりました。

①問1の文字式の計算は、分数の入った問題の得点率が低くなりました。間違えた問題は、計算の意味を考えてもう一度解きなおしてみましょう。①の問5は、代金を表す式に()をつけ忘れた解答が目立ちました。 a 、 b に数を代入して確認しましょう。③の問2(2)は、計算して簡単にすることができる式を書いた答案が多かったようです。数量を式で表すときは、できるだけ簡単な形で表しましょう。⑤の比例・反比例のグラフの問題は、形式に少しずつ慣れていきましょう。

数学は、1年生の学習が理解できていなければ2年生の学習が困難になります。間違えた問題は、解説を読むだけでなくしっかり解き直して自分のものにしましょう。

社会

標準的な難易度の出題でした。

地理分野では、③問3(3)の天然ゴムの輸出と輸入に関する問題が特に難しかったようです。アジアの国はどこか、アジアのなかでも東アジアの国はどこか説明することはできますか。例えば、地図帳には国名だけではなく、グラフや農作物の分布図などがのっています。そのような資料と国名・語句などをあわせて覚えることで、説明できる知識をたくさん積み上げてください。

歴史分野では、⑩問2の正答率が低くなりました。それぞれの幕府のしくみや、幕府や人物が行った内容は必ず説明できるようにしてください。教科書にのっている幕府のしくみをノートにかいたり、人物が行った内容を整理することで、人物名や語句をただ暗記するのではなく、その内容を説明できるようにしましょう。

理科

難しい出題でした。

①は問4がやや難しかったようですが、それまでの問題はよくできていました。②は問1が細かい知識が問われたこともあり得点率が低くなりました。③は気体について基本的な出題が多くありました。間違えたところはしっかりと復習しましょう。④は思考力・応用力が問われる難しい出題が多かったため、問1(1)の語句を除き、正答率が低いものが多くなりました。一見すると難しいように見えますが、実験や問題の文をしっかりと読み取り順を追って考えれば、正解にたどりつくことができます。このような問題に対応するために応用的な問題を繰り返し演習し、高い得点を目指しましょう。学習する内容が増える前の1年生のうちに身に着けることができれば、優位に立つことができます。

英語

全体としてはやや易しい出題でした。間違えた箇所は学年があがる前に復習しておきましょう。

①のリスニング問題では、得点率が100%近くになった問いがある一方、問3では30%程度となりました。問3のような問題は今後も出題される可能性が高いので、しっかりと見直しておきましょう。

②は全体的に得点率が低くなりました。問2は②、④とも書けなかった人が多いようです。このような図表やイラストの内容を絡めた出題は、これからよく出題されると考えられます。似ている問題で対策をしましょう。

④では、英作文よりも英単語1語を書く問題の方が得点率が低かったようです。疑問詞は必ず理解が必要な重要文法です。答えの文と合わせて、使い方をしっかり習得しておきましょう。